行政視察報告書

平成 31年 1月 21日

会 派 名 公明党市議団

会派代表者 古田みちよ

(参加者：古田みちよ 鈴木 貢 野下達哉)
行政視察の結果について、次のとおり報告します。

①

年月日	平成 30年 7月 2日 (月)
視察時間	13:30~14:50
視 察 先	埼玉県吉川市
視察項目	総合体育館の利用促進策について

②

年月日	平成 30年 7月 2日 (月)
視察時間	15:00~17:00
視 察 先	社会福祉法人福祉楽団 (埼玉県吉川市)
視察項目	子ども食堂について

③

年月日	平成 30年 7月 3日 (火)
視察時間	10:00~11:30
視 察 先	松が丘助産院 (東京都中野区)
視察項目	産後ケアについて

行政視察報告書

①

年月日	平成 30 年 7 月 2 日 (月)
視察時間	13:30~14:50
視察先	埼玉県吉川市
視察項目	総合体育館の利用促進策について
■目的 江南市の KTX アリーナの利用促進に向けて先進地の取り組みを勉強する。	
■内容 ○総合体育館の利用促進については、総合トレーニング室の無料トレーニング講習会を実施。初めての利用者にはトレーニング講習会の受講が必要。 ○毎月2回開催：第2土曜日午後1時から1時間程度。第4水曜日午後6時30分から1時間程度。修了者には「利用カード」を発行し個人利用券と共に受付で提示。 ○総合トレーニング室利用は午前9時から午後9時まで、近隣5市1町内の一般の方は2時間100円、中学生（保護者同伴）50円。それ以外の利用者は一般は同額、中学生は100円。なお、「吉川高齢者等公共施設無料利用証」の持参者は使用料免除になる特徴がある。	
■所感 総合体育館の利用促進については、高齢者の健康維持・増進のために「吉川高齢者等公共施設無料利用証」を導入などの工夫が見られた。	

行政視察報告書

②

年月日	平成 30 年 7 月 2 日 (月)
視察時間	15:00~17:00
視察先	社会福祉法人福祉楽団 (埼玉県吉川市)
視察項目	子ども食堂について
■目的 江南市においても子ども食堂が実施されているが、支援や実施形態の特色を勉強する。	
■内容 ○子ども食堂は社会福祉法人福祉楽団地域ケアよしかわが実施。ここは UR 都市再生機構の吉川団地内のテナントで実施。吉川団地ではチャレンジスペース制度 (条件を満たす場合には最長 9 カ月間賃貸料無料) 利用。 ○子ども食堂実施に当たっては、民生委員から寺子屋事業の誘いがあり、みんなの寺子屋を始め、そこに通う子どもたちへの食事支援の必要性を感じ、子ども食堂を実施するようになった。 ○地域の連携を重視するため、地元住民の方々のボランティアの方での調理や地元企業からの食材の確保されている。また、高齢者も利用できるのが特徴。	
■所感 ○子ども食堂は、団地の利点を活用した工夫がされていて、現在重要視されている地域とのつながりを築く視点からの運営がなされていることは、食糧支援が重視される政策観点から見直すことが出来た。	

行政視察報告書

③

年月日	平成 30年 7月 3日 (火)
視察時間	10:00~11:30
視察先	松が丘助産院 (東京都中野区)
視察項目	産後ケアについて
■目的 核家族化が進んでいる現代で、出産後いろいろな問題に悩まれるお母さん方が多くなっている中、産後ケアは大変重要な取り組みであり、今回は、民間の視点からどのようなことがされているのを勉強したい。	
■内容 ○助産院とは、お医者さんがいない、助産師だけの分娩施設であり、自然な分娩を行うところ。 ○産後ケア入院：産後は十分な休養と家族のサポートが必要である。しかし、手伝ってくれる人がいなかったり、兄弟がいてお世話があるなどの環境で、十分に休めない方もみえる。そのために松が丘助産院ではお母さんがゆっくり休める支援がされている。 ○産後ドゥーラ訪問ケア：妊娠・出産・子育てを支援する女性を地域で支える存在。一般社団法人ドゥーラ協会で認定を受けた資格者がいて（産後ドゥーラ）、産後のお母さんに代わって家事や産前産後のお母さんや赤ちゃん、先に生まれた子どもに対応するプロ。従来のホームヘルパーとは違って、お母さんの情緒面も含め、産後のお母さんに寄り添った対応をすることが特徴で、自宅に向いてサービスを提供。 ○中野区の産後ドゥーラ：中野区の居住者で、産後ドゥーラ訪問ケアの希望者は、「中野区かんがる～プラン」を利用できる。松が丘助産院では産後ドゥーラの充実に取り組んでいる。 ○院長は（社）東京都助産師会理事、（社）ドゥーラ協会の代表理事を務め、中野区役所福祉部に勤務していた経験を生かし平成10年に松が丘助産院を開院。	
■所感 助産院については知識的にはあったが、現在は産科の病院での出産が多い中、助産院の重要性を改められた。また、産後ドゥーラについては、認識不足でしたが、産後ケアにとっては、お母さんに寄り添って、ヘルパーではできない面までケアされることを知り、大変重要な存在であると感じた。民間の力は行政ではできない部分に入り込んでサポートがされていること改めて思い知ることが出来た。	